

希望にあふれ 旅立ちの日



平成最後の卒業式・学位記授与式＝日本武道館

2018年度卒業式・学位記授与式

2018年度専修大学卒業式・学位記授与式が3月22日、東京都千代田区の日本武道館で行われた。学部(一部・二部)4107人、大学院77人、法科大学院18人の計4202人が思い出と希望を胸に、学び舎から飛び立った。

式では学部、大学院、法科大学院の各総代に学位記を授与。学術、体育などで優れた成績を収めた学生に与えられる川島記念賞では延べ44人に賞

状とメダルが贈られた。佐々木重人学長は式辞で平成という時代を振り返り、災害とボランティアについて言及。「人は、人によって支えられていることを肝に銘じ、自分ができることを実践することが社会知性の開発をめざすことであり、ボランティア精神と相通じる」と大学の理念を説き、卒業生・修了生の社会での活躍を期待した。日高義博理事長は「忘れてならないのは、自分にとって大切な価値観は何かということ。凛として生きていくって、やさしい」と祝辞を述べた。小宮多喜次校友会長の祝辞に続き、卒業10年目の先輩としてタレントの



謝辞を述べる橋口さん

上田まりえさん(平21文)が登場。「想像もしなかったことがこれから起こるだろうけれど、過ごしてきた時間の中に、未来の自分を助けてくれるものがある」と激励した。卒業生・修了生を代表して橋口萌花さん(経営学部)が謝辞。旅立ちの日にあたり、「夢に向かって頑張ってきたのは、仲間がいたからです。私たちはこの4年間、専修大学で大きく成長できました」と振り返った。そして「専大での経験や仲間の存在が、これからの自分の活力になります」と力強く語った。平成最後の卒業生たちは、暖かな日差しの下、晴れやかな笑顔を見せていた。当日は大勢のご父母・保護者が門出を祝福した。

祝辞 日高 義博理事長



専修人として社会に貢献を

本日、学部を卒業、大与された人が数多くおられる。専修人として社会に貢献を。卒業後10年間は過去を振り返る余裕はないと思わなければならず、自分自身の歩んで、いろいろな分野で活躍すると思います。その時、母校の発展のために貢献する気持ちになると思っています。皆さんがこれから行く社会はグローバル、

本日は、学部を卒業、大与された人が数多くおられる。専修人として社会に貢献を。卒業後10年間は過去を振り返る余裕はないと思わなければならず、自分自身の歩んで、いろいろな分野で活躍すると思います。その時、母校の発展のために貢献する気持ちになると思っています。皆さんがこれから行く社会はグローバル、

式辞 佐々木 重人学長



できることから支え合おう

本日、学部 大学院の課 お慶びを申し上げます。程を修了し、学位を取得 皆さんの卒業を機会に、専修大学のユニバーシティとなり、専修大学を卒業した皆さん、ご卒業おめでとうございます。まシティー・アイデンティティー(UT)について、本学への支援に考えてみたいと思っております。本学は、教育目標として「社会知性の開発」を掲げ、厚く御礼申し上げます。志は「社会に対する報恩」

二二二専修

毎月1回15日発行
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- 川島記念賞受賞者／大学院・法科大学院総代……………2
- 総代インタビュー／卒業式・学位記授与式写真特集……………3
- 学びを生かし新たな道へ――4年次生の活躍紹介……………4
- ラオスの簿記教育に協力 商工会議所などと協定……………5
- 教員14人が教壇に別れ/裁判員制度シンポジウム……………8
- 石巻専修大学 学位記授与式/川島記念賞授与に9人……………10



専修大学は2020年に創立140周年を迎えます

経営学部 ビジネスデザイン学科 文学部 ジャーナリズム学科

2019年4月スタート